

氏名	田村佳士枝	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	小児看護学				
学位	修士(看護学)				
学歴	1987年聖路加看護大学看護学科、2003年聖路加看護大学修士課程				
経歴	1993年千葉県立衛生短期大学講師、2003年聖路加看護大学助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2018年同大学准教授				
所属学会(役職)	日本小児看護学会、日本看護科学学会、日本小児保健学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	こどもセルフケア看護理論	共著	あり	医学書院、240	片田範子、及川郁子、添田啓子、勝田仁美、加藤令子、中野綾美、田村佳士枝他	2019年9月30日
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	オレムセルフケア不足理論を取り入れた看護記録監査表の改定による看護師の認識の変化	共同		日本小児看護学会第29回学術集会、札幌市	○田村佳士枝、添田啓子、櫻井育穂、望月浩江、辻本健、村山奈津季、古谷佳由理、岡崎智美、株崎雅子、近藤美和子、久保良子	2019.7
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	手術を受けることを意思決定した子どもを支える親の認識と取り組み	単独		埼玉県立大学奨励研究報告書	田村佳士枝	2020.2
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	日本学術振興会科研費基盤研究(c)			親のケア能力・子どものセルフケア能力獲得を支援する看護師の教育指導力の発展	研究代表者: 添田啓子 研究分担者: 田村佳士枝	2016~2018年度 2019年度1年延長
2	日本学術振興会科研費基盤研究(c)			子どものセルフケア・親のケア能力獲得を支援する看護師の教育指導力の定着・評価	研究代表者: 添田啓子 研究分担者: 田村佳士枝	2019年度~2021年度
3	埼玉県立大学奨励研究(c)			手術を受けることを意思決定した子どもを支える親の認識と支援	研究代表者: 田村佳士枝	2019年度
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	小児看護学Ⅱ		2	2年次生を対象に、小児の周手術期の子どもとその家族の看護について事例を活用して、講義を行った。専門病院の認定看護師にゲストスピーカーで参加いただき、周手術期の看護をお話いただく調整を行った。		
2	小児看護学Ⅲ		15	2年次生を対象に、3グループ・2事例のPBLテュートリアル授業のファシリテーターを担当した。発表会では、発表の進行および質疑応答を通して全体像の共有を図った。		
3	小児看護学Ⅳ	○	15	3年次生を対象に感染症の乳児事例を用いて、小児看護特有の技術項目について学内実習、技術練習、技術テストを実施し、修得を支援した。		
4	子どもと家族のヘルスプロモーション		8	小児専門病院における在宅連携部門での実践について、事前学習を進め、インタビューおよびそのまとめの指導を行った。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	卒業研究拡大ゼミ		8	小児看護学領域の卒研学生全員と教員が参加して開催している。研究の進捗状況に沿って、研究テーマ・目的、計画書作成、結果を3回にわたって企画・開催し、共有し学びの場として活用している。また、卒研発表会の準備・調整・運営を行っている。		

(3)実習				
	実習の名称	科目責任者	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	小児看護学実習		2019.8～2019.12	3年生25名を5クール10週間にわたって、小児外科病棟での臨床実習指導を行った。子どもと家族の個別性に沿った計画立案・実施・評価について学びを深めることができた。また、補習実習を4日間2名の学生を担当した。
2	IPW実習		2019.10	療育施設における実習調整および学生の主体的な学びを支援した。
(4)論文指導				
	対象		期間	主旨指導・副指導の別及び指導人数
1	学部生卒業研究		2019.4～2019.12	主旨指導 3名 副指導 名
(5)その他				
	名称		期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1)講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	オレム理論導入のための事例検討会	埼玉県立大学および埼玉県立小児医療センター	県内小児専門病院におけるオレム理論導入のために、年に5回の事例検討会、集合形式ワークショップに参加し、ファシリテートを実施した。	2019.6～2020.2
2	臨床家のための看護研究セミナー	埼玉県立大学専門職公開講座	4回のゼミナールのうち、第2回目「研究のレベルをあげる-文献のクリティーク」を担当し、クリティーク文献の提示、課題提示および概説を行った。また、毎回のグループ討議に参加し、計画書の検討を支援した。	2019.5～12月
(2)国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	該当なし			
(3)ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4)その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目		内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等		学生支援委員会 委員会の検討課題である学生生活アンケートの集計結果の分析、学生表彰の見直し、埼玉県地方独立行政法人評価委員会による評価結果からの県内就職率の目標値の設定など、学科内の意見をとりまとめ委員会へ提出し検討を行った。今年度に運用開始した安否確認の担当調整および安否確認を実施し、担任の先生方の協力を得てスムーズに実施した。	2019.4～2020.3
2	大学広報活動		創立20周年記念式典：式典に向けて準備状況の把握、当日の受付対応を行った。 学科の卒業生活動報告会：準備・調整・対応でポスター作成・配布依頼、事前受付および当日資料作成および会場準備、運営を実施した。	2019.12.1
3	学科等における委員会等		実習計画調整会議 担当施設の公文書作成、施設の実習調整会議に向けた領域ごとのとりまとめを行った。実習では、事前打ち合わせ、実習運営の調整および反省会の準備・実施を行った。臨地実習指導者研修会の主担当を担い、役割分担、担当業務確認、および報告書作成を行い、学科内に報告した。また、実習ガイドの検討・修正を実施した。	2019.4～2020.3
4	学科等における委員会等		学生支援委員：就職支援PJ会議および国試PJ会議の開催および各事業の推進を実施した。教務・学生支援会議の学生状況のとりまとめを行い情報共有を行った。 学科内の担任業務遂行のための情報共有、身分異動に係る情報提供、学年間交流の推進・報告書による報告を行った。	2019.4～2020.3
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名		主催	受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				

	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		